



目次

| | |
|--|----------|
| 概要 | 4 |
| 機能概要 | 4 |
| チャネルマネジメント | 5 |
| Superior Channel Binding Address | 5 |
| Sub-channelを追加 | 5 |
| Subordinate Channelカスタマーを編集 | 6 |
| Subordinate Channelカスタマーを削除 | 7 |
| TRACK DEVICE | 8 |
| デバイスを表示 | 8 |
| デバイスのアサインを通知 | 9 |
| デバイスをアサイン | 9 |
| デバイスを設定 | 11 |

Grandstream Networks, Inc.

GDMS Channel Management

ユーザーガイド

(本ガイドに記載の組織名称につきましては日本語の場合リセーラとなります)

表目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 表1 : Track Device | 8 |
| 表2 : Subordinate Channelへアサイン | 10 |

図目次

| | |
|---|----|
| 図1 : 代表的なシナリオ説明 | 4 |
| 図2 : View My Binding Channel Address | 5 |
| 図3 : Superior Channel Binding Address | 5 |
| 図4 : Link Address | 6 |
| 図5 : Remarksを追加 | 7 |
| 図6 : Sub-channelを解除 | 7 |
| 図7 : Track Device | 8 |
| 図8 : Subordinate Channelに単一デバイスをアサイン | 9 |
| 図9 : Assign to Subordinate Channelオプション | 10 |
| 図10 : Subordinate Channelに複数デバイスをアサイン | 10 |
| 図11 : 複数のMAC Addressesをコピー & ペースト | 11 |
| 図12 : Device管理へのインポート | 11 |

概要

GrandstreamのSIPデバイスは、ウェブインタフェースによる設定のみならず、プロビジョニングにより設定ファイルから行えます。新しい手法では、大量のデバイスをモニターし、電話機の設定を行うGDMSプラットフォームが追加されます。ユーザーは多くの柔軟性と直観的なインタフェースにより、GrandstreamのSIPデバイスを管理することが可能となります。

このガイドの支援対象はチャンネルの管理とデバイスのトラッキングであり、対象はITSPとエージェントおよびシステムインテグレーターになります。

機能概要

ユーザーは、機能によりデバイスを管理することが出来、対象機能は以下の通りです：

1. 関係の確立はプライマリ/セカンダリエージェントになります。
2. 自動的にGrandstreamのERPからデバイスをインポートする為、マニュアルでのMAC Addressとシリアル番号の入力は不要です。
3. デバイスをアサインする対象はSubordinate Channelまたはエージェントになります。
4. カスタマーが直接デバイスを管理する支援は、カスタマーのアカウントにデバイスをインポートし、SIPアカウントと設定パラメータのアサインを行います。
5. デバイスのファームウェアをアップグレードします。

代表的なシナリオ説明:

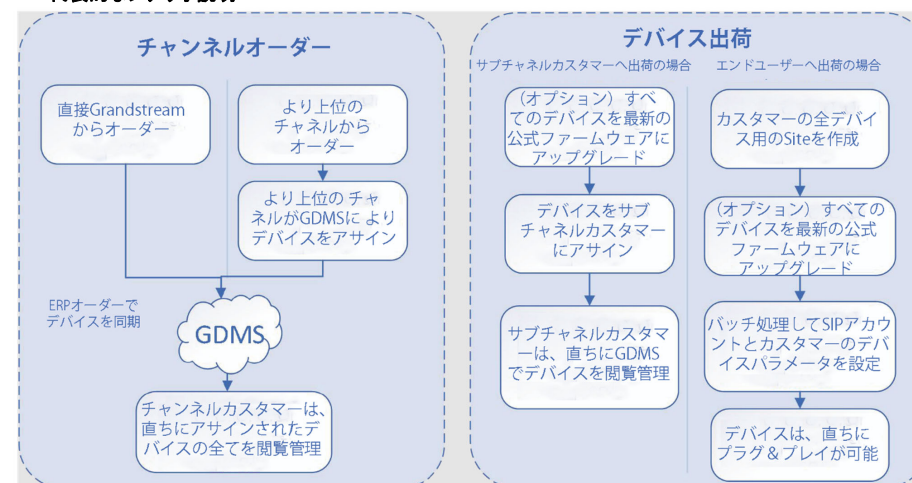


図1: 定型的なシナリオ説明

注:
 チャンネルカスタマーとサービスプロバイダは、Grandstreamのサポートに連絡をする必要があり、GDMSアカウントをERPアカウントと関連付けます。

チャネルマネジメント

Superior Channel Binding Address

上位チャンネルがユーザーへのデバイスのアサインを希望する場合、上位チャンネルはSubordinate ChannelとしてユーザーのGDMSアカウントを追加する必要があります。

ユーザーは、上位のチャンネルにBinding Addressをコピーし送付する必要があります。

1. 下図の様にChannelページ上部のSubchannelタブより、“View my binding channel address”のリンクをクリックします：

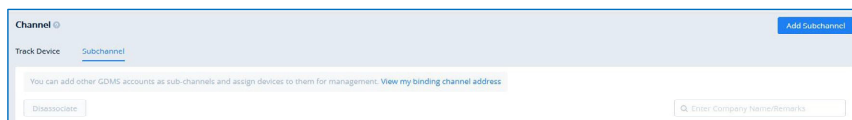


図2: View My Binding Channel Address

2. Superior Channel Binding Addressの画面にて、ユーザーはBinding Addressをリセット/コピー出来ます。

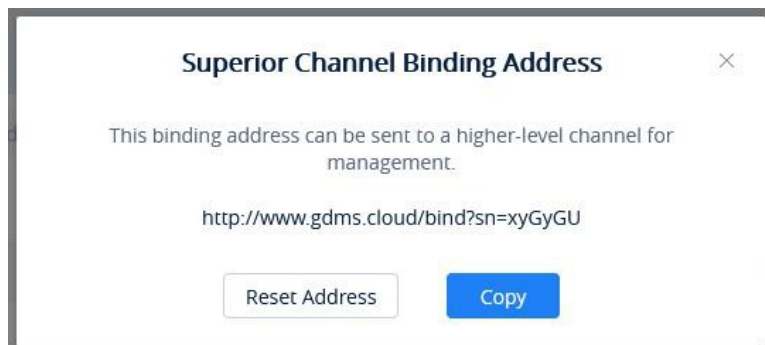


図3: Superior Channel Binding Address

- **Copy:** クリックしリンクするBinding Addressをクリップボードにコピーします。
- **Reset Address:** 別のアドレスを生成します。以前のリンクは無効になります。

Sub-channelを追加

ユーザーは、いつでもSub-channelのGDMSアカウントを追加出来ます。追加後、ユーザーはSub-channelへデバイスのアサインが可能になります。適切にSub-channelを追加するには：

Sub-channelからBinding Addressを入手し、GDMSアカウントを追加します。

1. Channel管理ページのSubchannelタブより、Add Sub-channelのボタンをクリックします。以下のウインドウが表示されます：

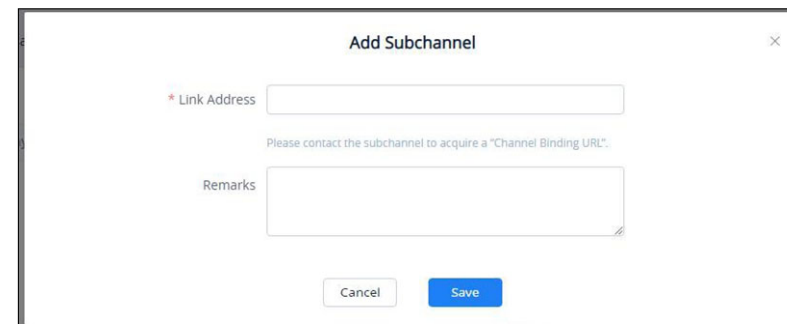



図4: Link Address

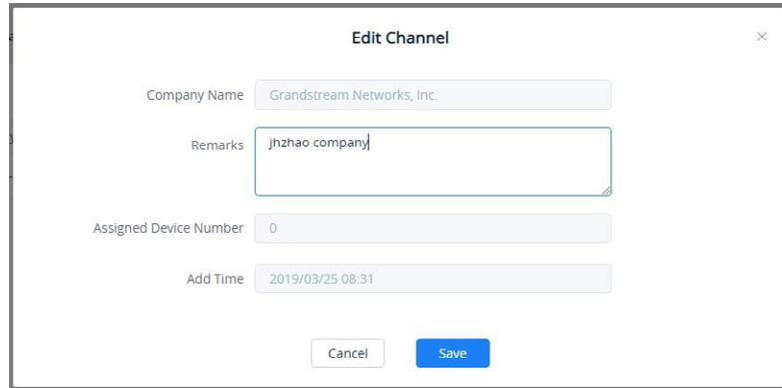
2. **Link Address**フィールドにSub-channelから提供されたBinding Addressを入力します。
3. このSub-channelの説明またはコメントを追加します。
4. Saveボタンをクリックし、内容を保存します。
5. Sub-channelの追加後、ユーザーはTrace Devicesタブにてデバイスのアサインが可能になります。

注:

- 各ユーザーは、複数のGDMSユーザーのSubordinate Channelカスタマーとなる場合があります。
- 各ユーザーは、複数のGDMSユーザーの上位チャンネルとなる可能性があります。
- ユーザーは、同地域のSubordinate Channelカスタマーの追加のみ可能です。(ユーザーが合衆国内の場合、ユーザーはSubordinate Channelカスタマーとして合衆国領域内の企業の追加のみ可能となります)

Subordinate Channelカスタマーを編集

Sub-channelの追加後は、ユーザーはRemarksフィールドの編集のみ可能となります。編集は対象とするSub-channelの  ボタンをクリックします。



Edit Channel

Company Name: Grandstream Networks, Inc.

Remarks: jhzhao company

Assigned Device Number: 0

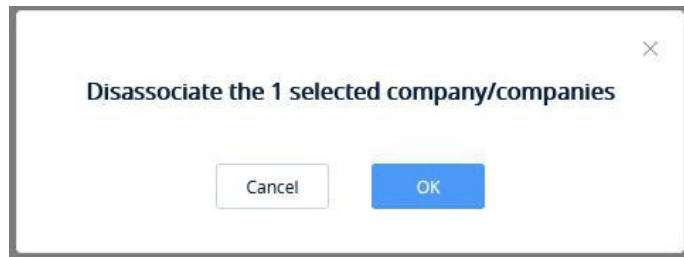
Add Time: 2019/03/25 08:31

Cancel Save

図5: Remarksを追加

Subordinate Channelカスタマーを解除

GDMSからSub-channelを解除するには、対象とするSub-channelを選択し、**Disassociate**ボタンをクリックします。このSub-channelへのデバイスのアサインは行えなくなります。



Disassociate the 1 selected company/companies

Cancel OK

図6: Sub-channelを解除

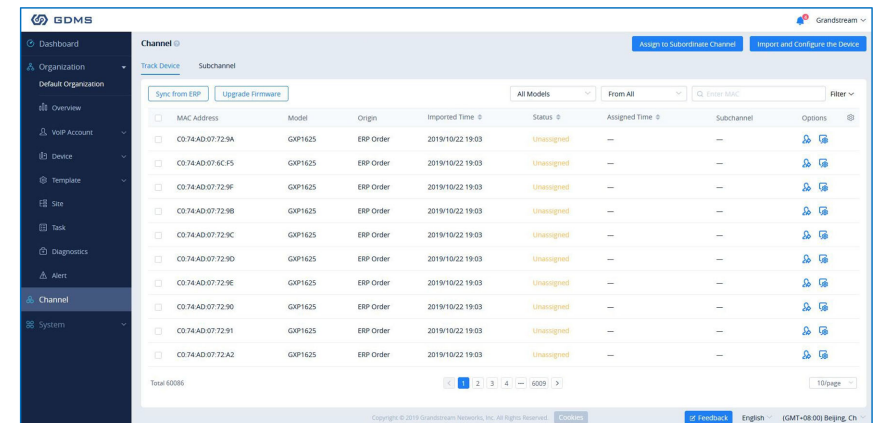
TRACK DEVICE

ユーザーは、“**Channel**”ページで“**Track Device**”オプションをクリックすることにより、デバイスがページ上に表示されます:

1. ユーザーがGrandstreamへ発注後、GrandstreamのERPシステムはユーザーのGDMSアカウントへオーダーされたデバイスを同期します。
2. ユーザーは、ユーザーの上位チャンネルへ発注をし、上位のチャンネルは“**Channel**”モジュール内でデバイスをユーザーにアサインします。アサインされたデバイスは、ユーザーの“**Track Device**”メニュー内に表示されます。

デバイスを表示

アカウントにアサインされている全デバイスを閲覧するには、**Track Device**タブをクリックします。



GDMS Channel

Assign to Subordinate Channel Import and Configure the Device

Track Device Subchannel

Sync from ERP Upgrade Firmware

All Models From All Q. Enter MAC Filter

| <input type="checkbox"/> | MAC Address | Model | Origin | Imported Time | Status | Assigned Time | Subchannel | Options |
|--------------------------|------------------|---------|-----------|------------------|------------|---------------|------------|---------|
| <input type="checkbox"/> | CO.74AD.07.72.9A | GXP1625 | ERP Order | 2019/10/22 19:03 | Unassigned | — | — | |
| <input type="checkbox"/> | CO.74AD.07.6C.F5 | GXP1625 | ERP Order | 2019/10/22 19:03 | Unassigned | — | — | |
| <input type="checkbox"/> | CO.74AD.07.72.9F | GXP1625 | ERP Order | 2019/10/22 19:03 | Unassigned | — | — | |
| <input type="checkbox"/> | CO.74AD.07.72.9B | GXP1625 | ERP Order | 2019/10/22 19:03 | Unassigned | — | — | |
| <input type="checkbox"/> | CO.74AD.07.72.9C | GXP1625 | ERP Order | 2019/10/22 19:03 | Unassigned | — | — | |
| <input type="checkbox"/> | CO.74AD.07.72.9D | GXP1625 | ERP Order | 2019/10/22 19:03 | Unassigned | — | — | |
| <input type="checkbox"/> | CO.74AD.07.72.9E | GXP1625 | ERP Order | 2019/10/22 19:03 | Unassigned | — | — | |
| <input type="checkbox"/> | CO.74AD.07.72.90 | GXP1625 | ERP Order | 2019/10/22 19:03 | Unassigned | — | — | |
| <input type="checkbox"/> | CO.74AD.07.72.91 | GXP1625 | ERP Order | 2019/10/22 19:03 | Unassigned | — | — | |
| <input type="checkbox"/> | CO.74AD.07.72.A2 | GXP1625 | ERP Order | 2019/10/22 19:03 | Unassigned | — | — | |

Total: 60086

Copyright © 2019 Grandstream Networks, Inc. All Rights Reserved. Cookies [Feedback](#) English (GMT+08:00) Beijing, Ch

図7: Track Device

表1: Track Device


| | |
|----------------------|--|
| MAC Address | デバイスのMACアドレス |
| Model | デバイスのモデル名称 |
| Origin | デバイスの起点となる場所は現在2系統あります: <ol style="list-style-type: none"> 1. ERP Order – デバイスデータはGrandstreamのERPから同期されます。 2. Main Channel – デバイスはメインチャンネルにより追加されます。 |
| Imported Time | デバイスがアカウントにアサインされた日付と時間 |
| Status | Assigned: デバイスはSub-channelにアサインをされており、他のSub-channelにアサインすることは出来ません。 Unassigned: デバイスは未だSub-channelにアサインされていません。 |

| | |
|----------------------|--|
| Assigned Time | デバイスがSub-channelにアサインされた日付と時間。Subchannelに会社名が表示されます。 |
|----------------------|--|

ユーザーは、**Channel**管理ページの右上のフィルターと検索オプションにより、特定のデバイスを検索することができます。

注:
 ユーザーは、このリストからは直接ファームウェアのアップグレードまたはデバイスの設定ファイルをアップデートすることは出来ません。**デバイスを設定**の章を参照してください。

デバイスのアサインを通知

デバイスがアカウントにアサインをされた際、アイコンにより通知されます。通知を  クリックしアサインをされたデバイスのリストを表示します。


デバイスをアサイン

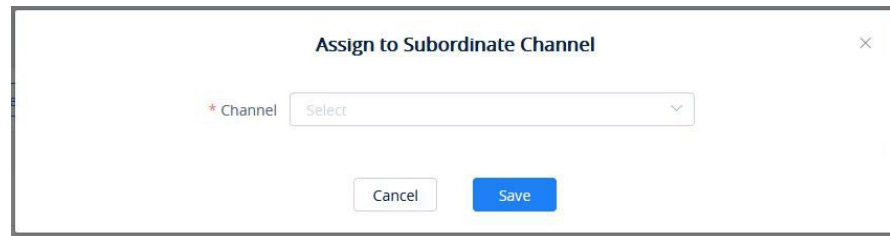
Subordinate Channelカスタマーへ販売されたデバイスについては、ユーザーは各カスタマーにデバイスをアサインすることが出来ます。

Subordinate Channelカスタマーは、GDMSプラットフォームへログインし、デバイスを閲覧管理出来ます。

ユーザーは単一のデバイスをアサインするか、デバイスのバッチによりアサインします:

単一デバイスをアサイン:

- 対象デバイス用の  ボタンをクリックします。以下のウィンドウが表示されます:



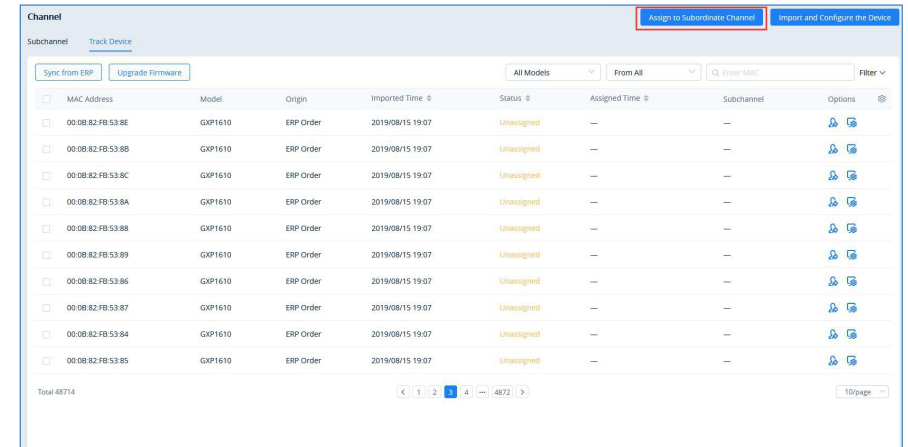
The dialog box titled "Assign to Subordinate Channel" contains a dropdown menu labeled "Channel" with a "Select" placeholder. At the bottom, there are "Cancel" and "Save" buttons.

図8: Subordinate Channelに単一デバイスをアサイン

- デバイスを割り当てるSub-channelを選択します。

複数デバイスをアサイン:

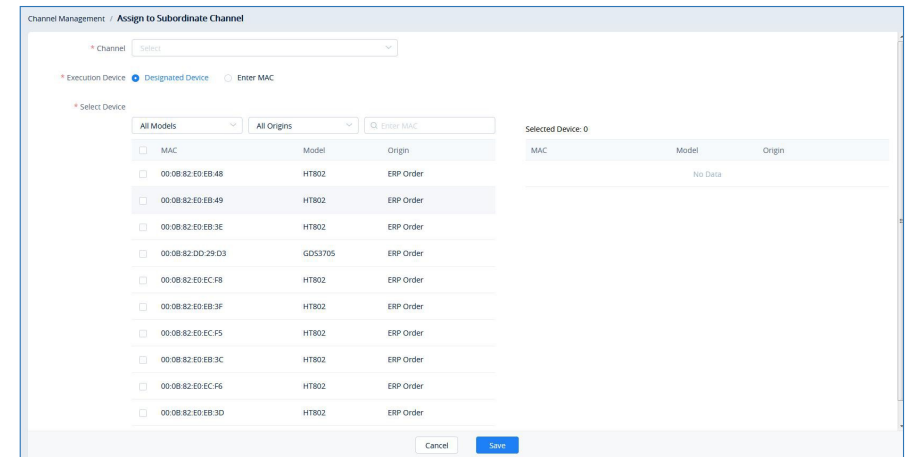
- Channel**管理ページの**Track Device**タブより、右上の**Assign to Subordinate Channel**ボタンをクリックします。



The screenshot shows the "Channel Management" page with the "Track Device" tab selected. It features a table with columns: MAC Address, Model, Origin, Imported Time, Status, Assigned Time, Subchannel, and Options. The table lists multiple devices, all with a status of "Unassigned". At the top right, there are buttons for "Assign to Subordinate Channel" and "Import and Configure the Device".

図9: Assign to Subordinate Channelオプション

- ユーザーは、バッチによりデバイスをアサインするページへ移動します:



The screenshot shows the "Assign to Subordinate Channel" page. It includes a "Channel" dropdown, an "Execution Device" section with "Designated Device" selected, and a "Select Device" section with a table of devices. The table has columns for MAC, Model, and Origin. At the bottom, there are "Cancel" and "Save" buttons.

図10: Subordinate Channelに複数デバイスをアサイン

表2: Subordinate Channelへアサイン

| | |
|-------------------|---|
| Channel | デバイスをアサインするSub-channelを選択します。 |
| Run Device | リストからSub-channelにアサインするデバイスを選択するか、デバイスのMACアドレスを入力します。 |

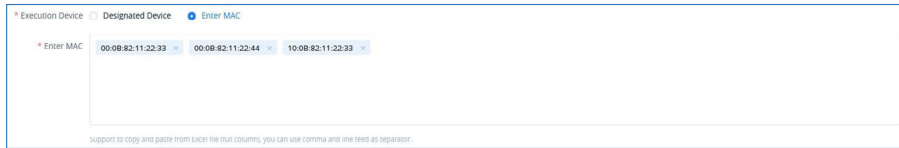


図11: 複数のMAC Addressをコピー&ペースト

3. **Save**ボタンをクリックし、変更およびアサインを確定します。Sub-channelは、デバイスのアサインの通知を受け取ります。


注:

1. カスタマーにアサインをされたデバイスは、他のカスタマーへアサインすることは出来ません。
2. デバイスのアサイン後は、ユーザーはデバイス操作の取消は行えません。デバイスが誤ってカスタマーにアサインをされた場合は、ユーザーはSubordinate Channelカスタマーに連絡をし、ユーザーへデバイスを返還後にアサインを行う必要があります。

デバイスを設定

Channel管理のデバイスリストからデバイスを管理するには、ユーザーは最初にGDMSの**Device**管理にデバイスをインポートする必要があります。

単一デバイスをインポート

1. 対象デバイスの  ボタンをクリックします。以下のウィンドウが表示されます:

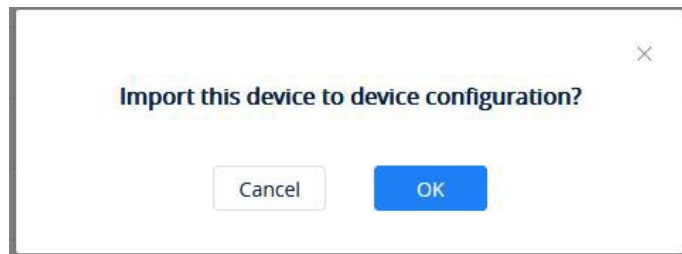


図12: Device管理へのインポート

2. “OK”ボタンをクリックし、インポートを実行します。

複数デバイスをインポート

画面右上のImport and Configure the Deviceボタンをクリックし対象デバイスを指定します。

